



株式会社日本航空
2008年度(平成21年3月期)
第1四半期 決算説明会

2008年8月7日



本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本書面の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社日本航空に属します。



目次



1. 2008年度第1四半期決算

連結決算の概要(前年度差)	P4
セグメント別営業収益・営業損益	P5
航空運送事業セグメント営業収支	P6
燃油費と為替(航空運送事業セグメント)	P7

2. 現在の経営環境と重点施策について

現在の経営環境	P9
現在の需要動向	P10
燃油市況高騰の影響と対応策	P11
事業計画の見直しについて	P12
コスト削減の進捗状況	P13
まとめ	P14

3. 補足資料

国際旅客 ~ 収入分析 ~	P16
国際旅客 ~ 方面別供給・需要 ~	P17
国内旅客 ~ 収入分析 ~	P18
国際貨物 ~ 収入分析 ~	P19
路線便数計画の変更について(国際旅客・国際貨物)	P20
路線便数計画の変更について(国内旅客)	P21



1. 2008年度 第1四半期決算

2. 現在の経営環境と重点施策について

3. 補足資料



連結決算の概要（前年度差）



(単位:億円)

	FY07 4-6月	FY08 4-6月	前年度差
営業収益	5,206	4,903	303
(営業費用)	5,292	4,864	428
営業損益	85	39	124
経常損益	32	7	39
当期損益	42	34	8



セグメント別営業収益・営業損益



(単位: 億円)

	営業収益			営業損益	
	FY08 4-6月	前年度差	前年度比	FY08 4-6月	前年度差
航空運送事業	4,281	61	101%	33	142
航空運送関連事業	527	334	61%	3	10
旅行企画販売事業	797	96	89%	13	2
カード・リース事業	175	10	106%	15	3
その他事業	205	40	83%	1	4
計	5,987	400	94%	40	128
消去または全社	1,084	96	92%	1	3
連結	4,903	303	94%	39	124



航空運送事業セグメント営業収支



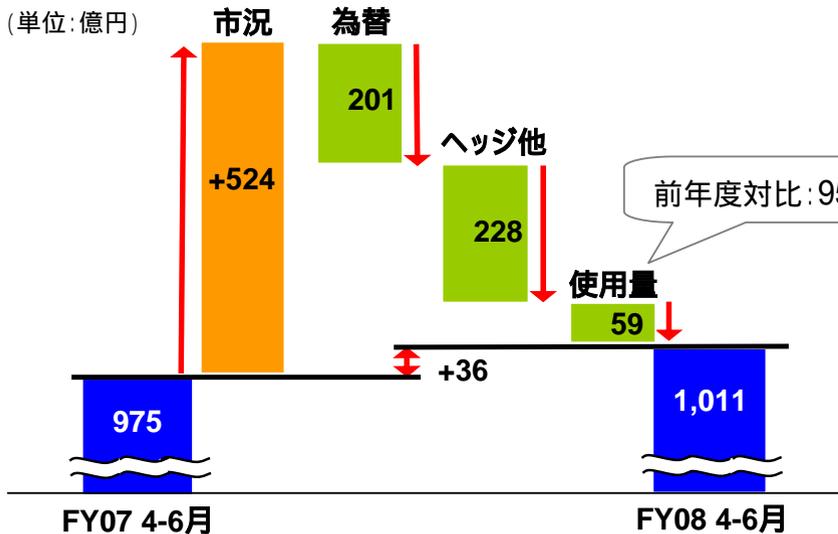
	FY07 4-6月	FY08 4-6月	前年度差	(単位: 億円) 前年度比
営業収益	4,220	4,281	61	101%
国際旅客	1,721	1,804	83	105%
国内旅客	1,554	1,537	16	99%
国際貨物	444	454	10	102%
国内貨物	67	82	15	123%
国際郵便	22	22	0	103%
国内郵便	24	13	10	57%
その他	156	165	8	106%
付帯事業	230	200	29	87%
営業費用	4,329	4,248	81	98%
燃油費	975	1,011	36	104%
運航施設利用費	324	309	14	95%
整備費*	316	301	14	96%
貨客サービス費	118	113	5	96%
販売手数料	261	249	12	95%
航空機材減価償却費	178	184	6	104%
航空機材賃借料*	271	267	3	99%
人件費	725	715	10	99%
その他*	1,159	1,094	65	94%
営業損益	108	33	142	-



燃油費と為替 (航空運送事業セグメント)

燃油費比較 (前年度比較)

(単位: 億円)



< 燃油市況平均* >

FY07 4-6月

FY08 4-6月

\$79.3

\$141.2

*シンガポールケロシン \$/bbl

< ヘッジの状況 >

FY08 4-6月

FY08

FY09

FY10

87%

84%

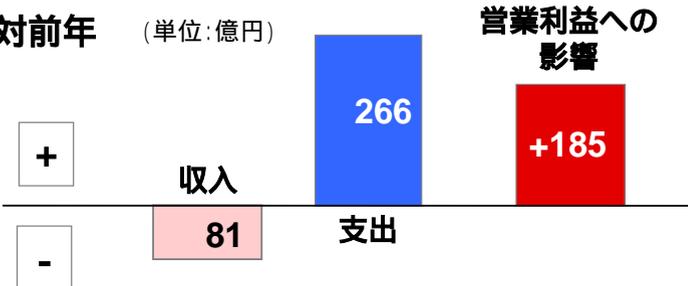
47%

27%

為替の影響 (営業利益ベース)

・対前年

(単位: 億円)



< 平均レート** >

FY07 4-6月

FY08 4-6月

USD

¥119.3

¥102.0

EUR

¥160.7

¥159.7

** JAL社内月次レート平均



1. 2008年度 第1四半期決算

2. 現在の経営環境と重点施策について

3. 補足資料

懸念材料

■ 燃油市況高騰

■ 景気減速や値上げに伴う
需要伸び悩み

対応策

追加施策

- ✓ コスト構造改革の実行
- ✓ 事業計画の大幅見直し

基本対応策

- ✓ 各種増収施策の実施
- ✓ 従来からのコスト削減施策継続
- ✓ 燃油サーチャージの見直し

FY08上期

FY08下期



現在の需要動向



増収施策

国際旅客

- 日本発F・Cクラス需要は堅調に推移したが、伸びは鈍化傾向
- 日本発団体需要の冷え込みに加え、海外通過旅客も減少
- 中国線が大幅に減少、米州線やオセアニア線の需要も弱い

- ✓ 客体構成変化やサーチャージ見直し等によるイールド改善
- ✓ 「バリュー悟空運賃」等の柔軟な運賃戦略による観光需要への対応強化
- ✓ 米国線への新F・Cクラス展開等、プレミアム戦略の拡充

国内旅客

- 羽田 = 札幌、福岡の旅客数回復
- 羽田 = 旭川、鹿児島等、他社の参入・増便路線では苦戦
- 個人旅客が減少する一方、団体旅客は好調

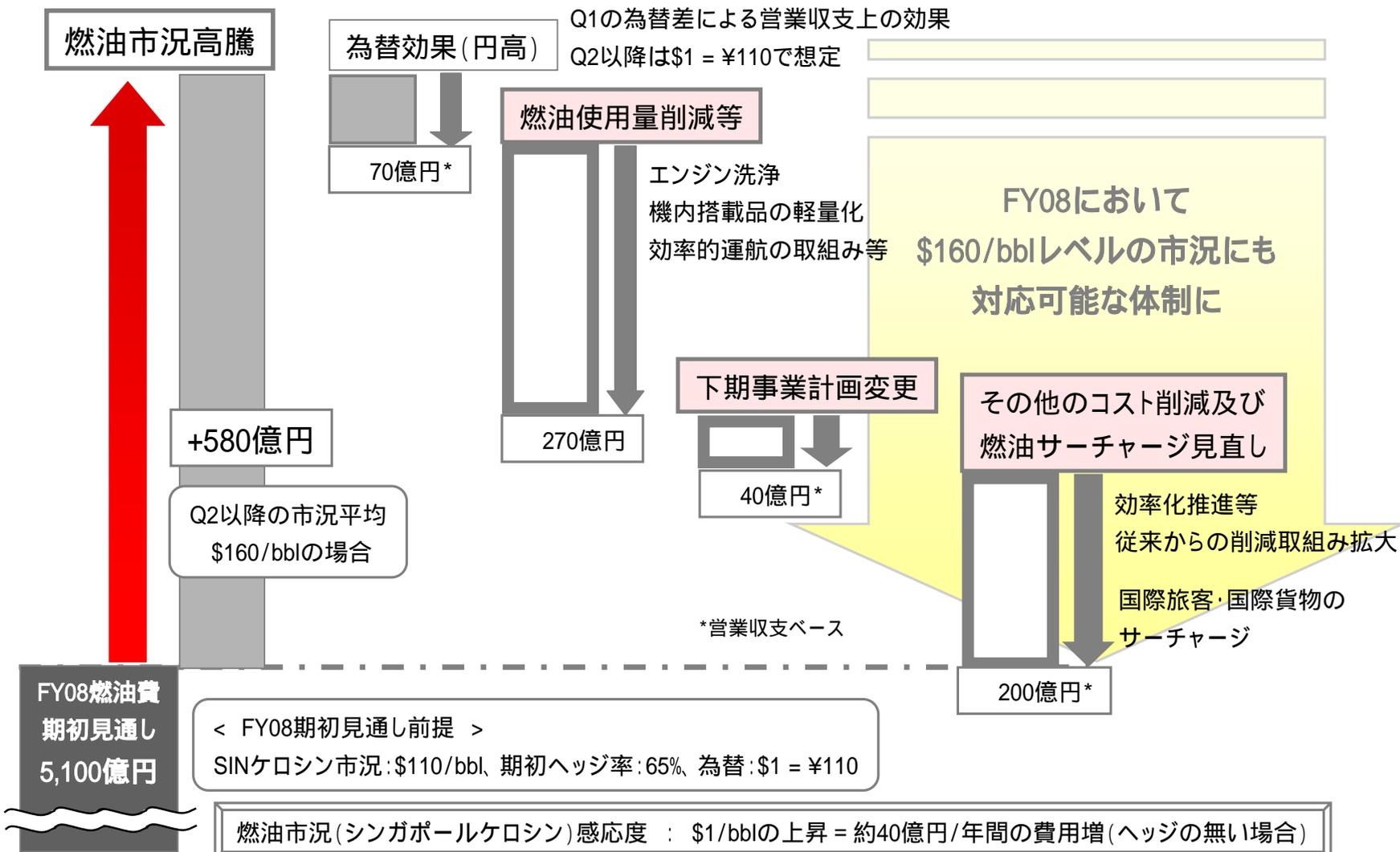
- ✓ 法人セールスの強化
- ✓ 座席コントロール強化による高単価旅客の比重拡大
- ✓ Fクラスの供給拡大等に伴うプレミアム旅客の取込み

国際貨物

- 貨物便減便や米国景気減速に伴い、日米間の需要は減少
- 中国発・アジア発米国向け需要は堅調に推移

- ✓ 新商品(J-DIRECT等)の展開など高付加価値商品の販売拡充

燃油市況高騰の影響と対応策





事業計画の見直しについて



燃油高騰下においても継続して利益を確保できる供給体制に

国際旅客

FY08供給(ASK) 前年度対比 95.8% 96.2%

■ 主要変更点 (FY08末の変更も含む)*

- 増便: 成田 = ソウル、関西 = 上海等 4路線
- 運休: 福岡 = 上海、中部 = 釜山等 3路線
- ダウンサイジング:
羽田 = 虹橋、成田 = 杭州等 5路線

国内旅客

FY08供給(ASK) 前年度対比 98.1% 97.5%

■ 主要変更点 (FY08末の変更も含む)*

- 増便: 羽田 = 松山、宮崎等 5路線
- 減便: 関西 = 札幌、福岡等 4路線
- 運休: 関西発着5路線、福島発着全線等 12路線

60億円の収支改善**

60億円の収支改善**

*詳細は20/21ページ参照 **通年化効果

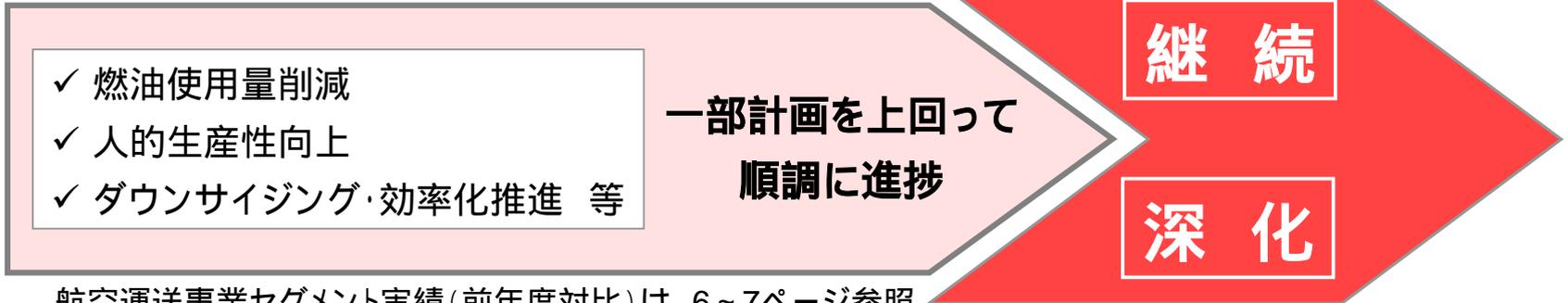
更なる見直しに関する基本方針

- 収益性の向上を目指し、最も適正な供給体制を構築していく
- 外部環境の急激な変化にも柔軟に対応出来るように、全ての路線を対象として常に検討を継続



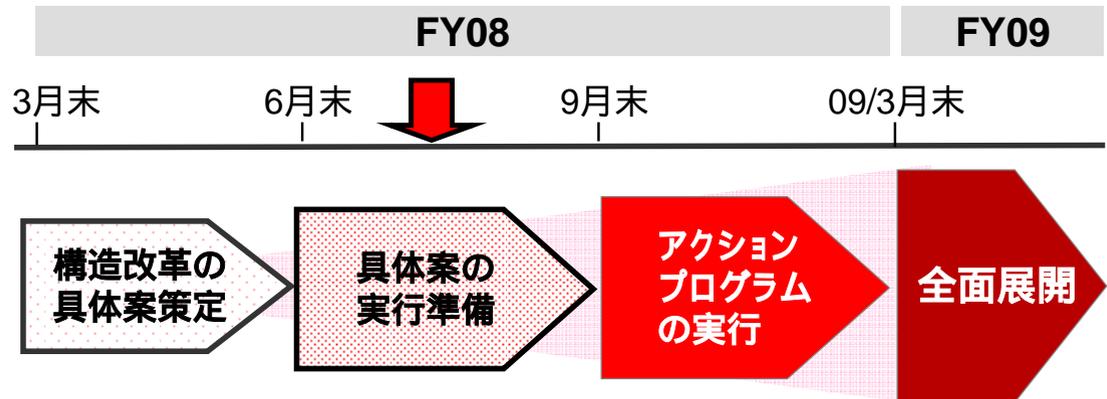
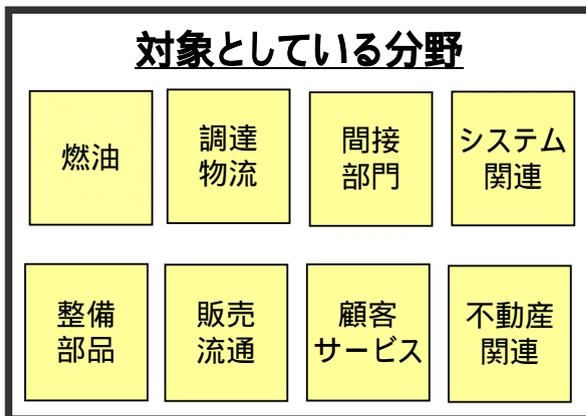
コスト削減の進捗状況

■ 従来から継続している施策について



■ 更なる削減施策について

『コスト構造改革』 ～ ビジネスデザイン・業務プロセスにまで踏み込んだコスト構造の改革 ～





■ 外部環境等の変化に迅速に対応

- ✓ プレミアム戦略の推進や販売強化等の増収施策により、需要の伸び悩みに対応
- ✓ コスト削減を中心とした施策の実行により、燃油市況高騰の影響を極小化
- ✓ 燃油高騰下でも継続して利益を計上できる供給体制を構築すべく、事業計画を見直し

■ FY08の収支見通しは据え置き

- ✓ 期初見通しを達成すべく、あらゆる施策を実行

■ 「FY08-10再生中期プラン」の達成を目指す

- ✓ 追加施策の実行・拡大により、外部環境の変化にも柔軟に対応



1. 2008年度 第1四半期決算

2. 現在の経営環境と重点施策について

3. 補足資料

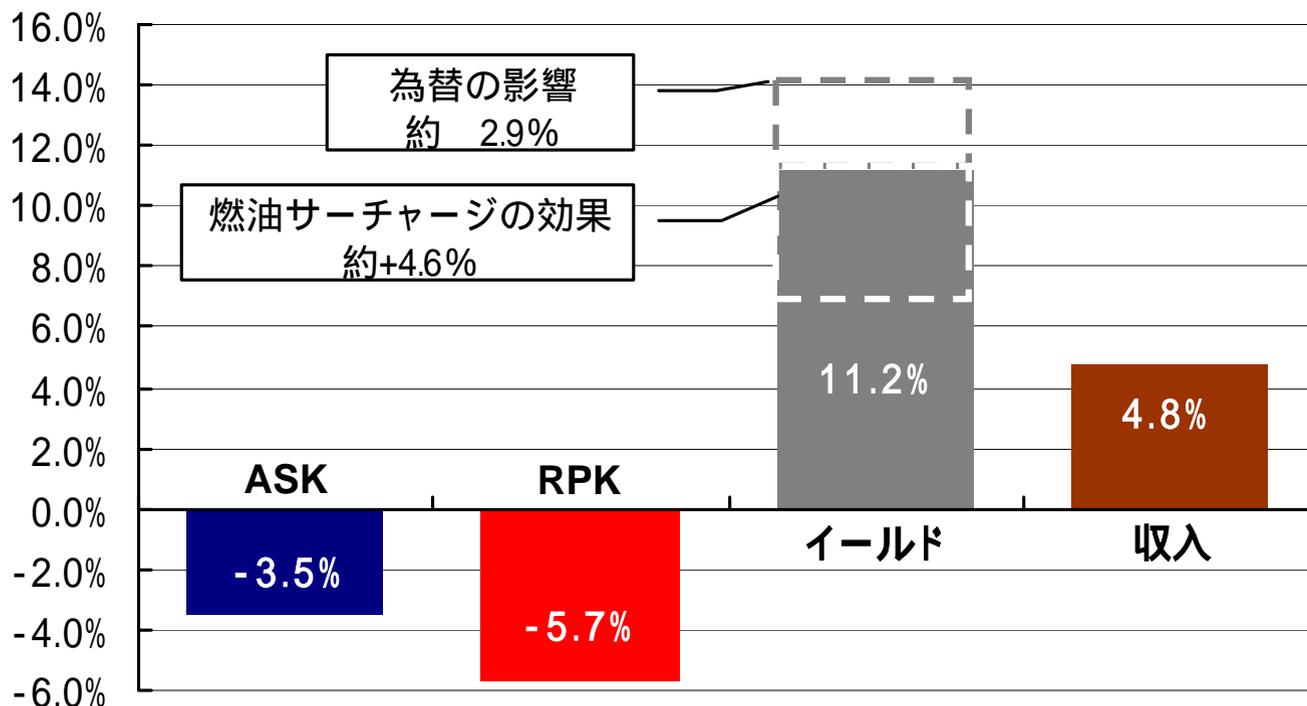


国際旅客 ~ 収入分析 ~



対前年 供給・需要・イールド・収入

- ・収入 1,804 億円 (対前年 +83億円)
- ・ロードファクター 66.3% (対前年 1.5 pt)

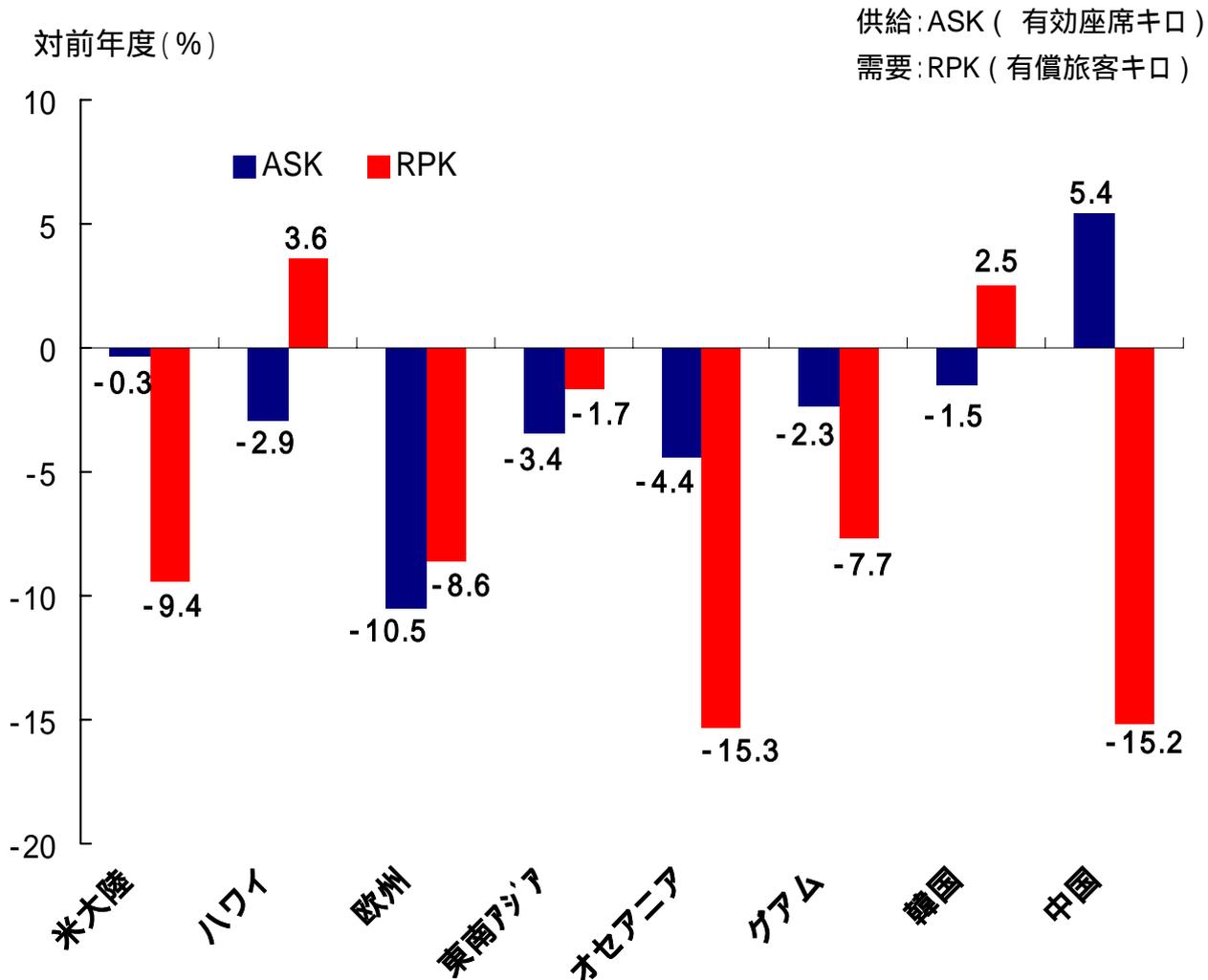


供給: ASK (有効座席キロ)

需要: RPK (有償旅客キロ)



国際旅客 ~ 方面別供給・需要 ~



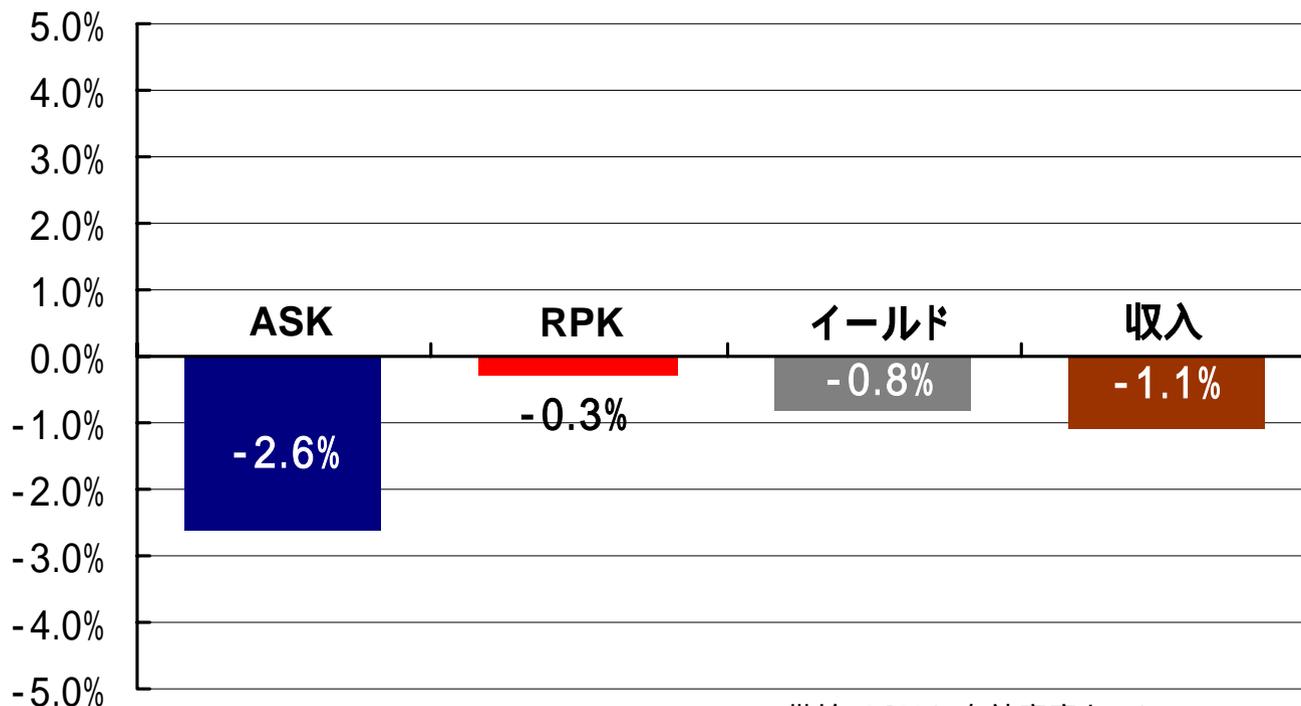


国内旅客 ~ 収入分析 ~



対前年 供給・需要・イールド・収入

- 収入 1,537 億円 (対前年 16 億円)
- ロードファクター 60.6% (対前年 +1.4 pt)



供給:ASK (有効座席キロ)
需要:RPK (有償旅客キロ)



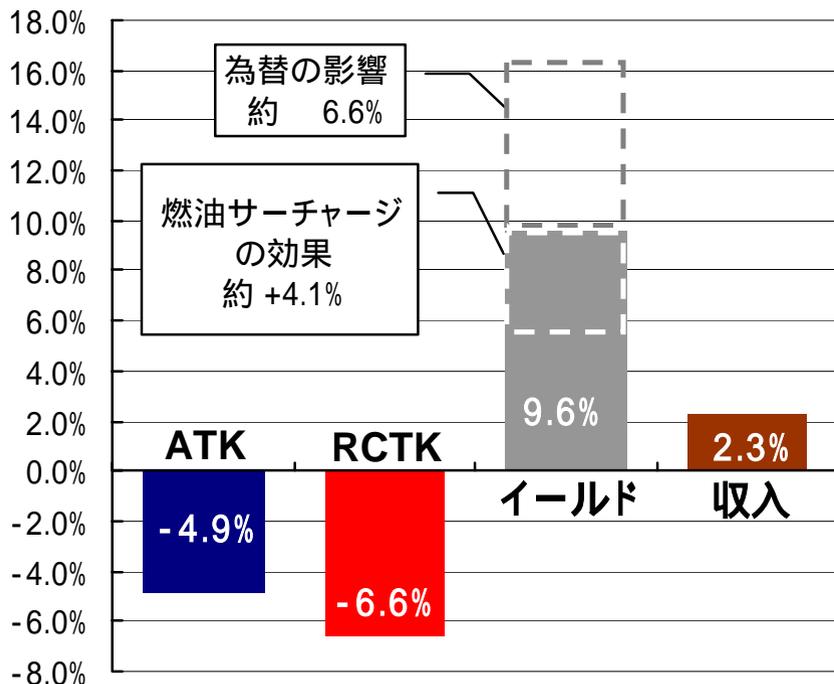
国際貨物 ~ 収入分析 ~



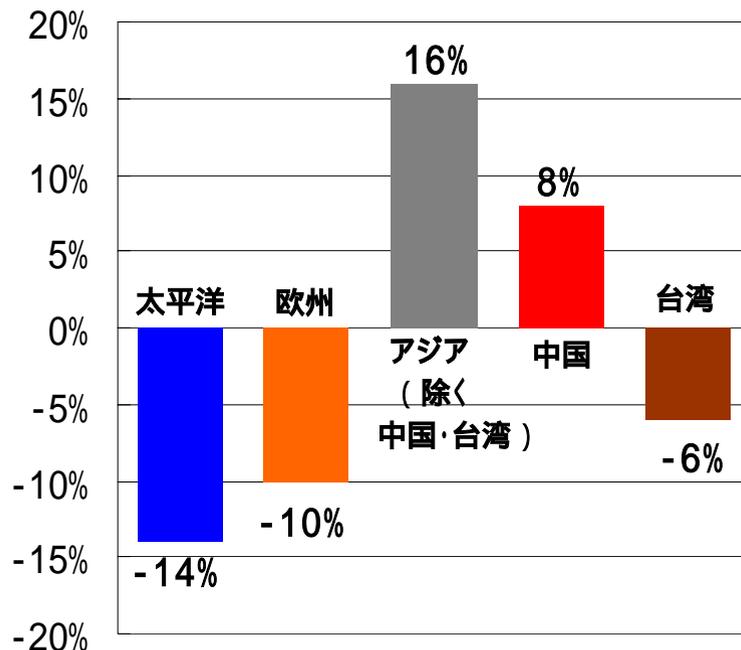
対前年 供給・需要・イールド・収入

対前年 路線別需要(搭載重量)

•収入 454 億円 (対前年 +10億円)



対前年度比(%)



供給: ATK (有効貨物トンキロ) 旅客便+貨物便の全貨物供給量

需要: RCTK (有償貨物トン・キロ)



路線便数計画の変更について (国際旅客・国際貨物)



[2008年8月7日発表]

「国際旅客」

< 増便 >

路線	便数変更	増便時期	備考
東京(成田)=ソウル	週間21便 週間26便	2008年10月26日～	
大阪(関西)=上海	週間14便 週間21便	2008年10月26日～	
大阪(関西)=ハノイ	週間4便 週間7便	2008年10月26日～	
大阪(関西)=ソウル	週間14便 週間21便	2008年10月26日～	

< 運休 >

路線	便数変更	運休時期	備考
福岡=上海	週間7便 運休	2008年10月26日～	
名古屋(中部)=釜山	週間7便 運休	2008年10月26日～	
大阪(関西)=ロンドン	週間7便 運休	2009年3月29日～	

< ダウンサイジング >

路線	機材変更	実施時期	備考
東京(羽田)=上海(虹橋)	747-400 777-200ER	2008年10月26日～	
東京(成田)=上海(浦東)	767-300ER 737-800	2008年10月26日～	619/610便のみ
東京(成田)=杭州	767-300ER 737-800	2008年10月26日～	
東京(成田)=台北	747-400 767-300ER	2009年3月1日～	647/642便のみ
大阪(関西)=上海	767-300ER 737-800	2009年1月1日～	629/620便のみ

「国際貨物」

路線	変更内容	実施時期	備考
東京(成田)=アンカレッジ=ニューヨーク	週間6便 週間3便	2008年10月26日～	機材:747-400F
東京(成田)=ロサンゼルス	週間7便 週間6便	2008年10月26日～	機材:747-400F
東京(成田)-クアラルンプール-マニラ-大阪(関西)-東京(成田)	週間1便 運休	2008年10月26日～	機材:767-300F
東京(成田)=香港	週間5便 週間6便	2008年10月26日～	増便分機材:767-300F
東京(成田)-シンガポール-バンコク-名古屋(中部)-東京(成田)	週間3便 週間2便	2008年10月26日～	機材:747-400F
東京(成田)-シンガポール-バンコク-大阪(関西)-東京(成田)	週間0便 週間1便	2008年10月26日～	機材:767-300F
東京(成田)=台北	週間5便 週間4便	2008年10月26日～	機材:747-400F
東京(成田)-台北-名古屋(中部)-東京(成田)	週間0便 週間1便	2008年10月26日～	機材:747-400F



路線便数計画の変更について(国内旅客)



【2008年8月7日発表】

「国内旅客」

< 増 便 >

路線	便数変更	増便時期	備考
東京(羽田)=松山	1日 4便 1日 5便	2008年11月～	
東京(羽田)=宮崎	1日 4便 1日 5便	2008年11月～	年未年始・春休みを除く
福岡=東京(成田)	1日 1便 1日 2便	2008年11月～	ロサンゼルス、ニューヨーク線などに接続
大阪(伊丹)=新潟	1日 5便 1日 6便	2009年 3月～	
名古屋(中部)=札幌	1日 4便 1日 5便	2009年2月～	

< 減 便 > (増便計画修正を含む)

路線	便数変更	減便時期	備考
大阪(関西)=札幌	1日 6便 1日 4便	2008年11月～	
大阪(関西)=福岡	1日 4便 1日 3便	2008年11月～	
大阪(関西)=那覇	1日 5便 1日 4便	2008年11月～	2007年度下期と同便数
名古屋(小牧)=熊本	1日 2便 1日 1便	2008年11月～	

< 運 休 >

路線	便数変更	運休時期	備考
大阪(関西)=函館	1日 1便 運休	2008年11月～	
大阪(関西)=仙台	1日 1便 運休	2008年11月～	
大阪(関西)=いわて花巻	1日 1便 運休	2009年 2月～	
大阪(関西)=秋田	1日 1便 運休	2009年 2月～	
大阪(伊丹)=福島	1日 1便 運休	2009年 2月～	
大阪(関西)=福島	1日 1便 運休	2009年 2月～	
神戸=鹿児島	1日 2便 運休	2009年 2月～	
名古屋(中部)=福岡	1日 4便 運休	2009年3月29日～	11月3便、12月～3月28日は1便運航
いわて花巻=那覇	春休み運航 運休	2009年 3月～	
仙台=那覇	12月運航 運休	2008年12月19日～	
福島=那覇	1日 1便 運休	2009年 2月～	日本トランスオーシャン航空による運航
高知=那覇	週間3便 運休	2009年 2月～	日本トランスオーシャン航空による運航



Japan Airlines Corporation